

平成21年11月17日
太田川河川事務所

太田川の樹木伐採 取り組み結果(速報)

～木材資源の有効活用により8百万円のコストを節減～

9月10日にお知らせした『太田川の樹木伐採を希望する方募集します!』について、11月16日をもって受付が終了しましたので、結果をお知らせします。

【取り組みの概要】

太田川河川事務所が実施している河道内の樹木伐採について、伐採コストの縮減及び木材資源の有効活用を図る試みとして、希望者に樹木を伐採していただき、その伐木を無償で持ち帰っていただくこととし、9月11日～11月16日の期間で希望者を募りました。

【募集結果】

- 応募総数 24件(24区画、9,600m²)
(募集区画:50区画、20,000m²)
- 節減される費用 約8,400,000円(※試算値)
※伐採、運搬、処分費が対象
※試算値であり、今後変更の可能性有り
- 主な活用事例 薪(ストーブ、風呂)およびキノコ栽培

同時資料配付先

広島市政記者クラブ
広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所

副 所 長 佐藤 秀樹(さとう ひでき)

管理第一課長 林 十三夫(はやし とみお)

住 所 広島市中区八丁堀3番20号

電 話 082-222-9248(管理第一課)

■(太田川)河道内樹木公募伐開取り組み結果

■河川管理上支障となる河道内の樹木の伐開について、伐採コストの縮減、木材資源の有効活用を図る試みとして、希望者に樹木を伐採していただき、その伐木を無償で持ち帰っていただくこととし、平成21年9月11日～11月16日の間で希望者を募りました。

■この取り組みに**24件の応募**があり、伐採作業、処分にかかる費用**約8百万円のコストを節減**することができました。

樹木伐開実施箇所

以下の基準で公募伐採箇所を選定(高瀬堰下流)

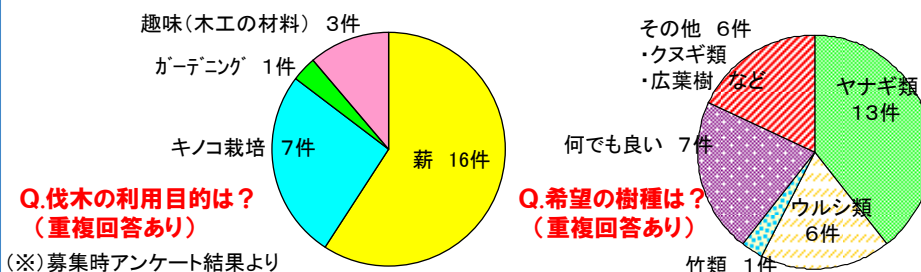
【選定基準】

- ✓樹木により洪水の流下を阻害している箇所
- ✓河川の見通しが悪い箇所
- ✓安全に伐採作業ができる箇所



応募状況

伐開予定箇所の20,000m²を、1区画400m²(20m×20m)単位で50区画募集 → **24件の応募**



広報活動

- 新聞・フリーペーパー情報紙・ラジオでの広報(※1)
- 流域関係市町村へのチラシ配布(2市1町)
- 森林組合、活動団体等への広報(延べ34団体)
- 事務所・各出張所・ダム管理所へチラシ、パネルの展示
- 地域等のイベントでのパネル展示(※2)

※1

新聞・情報紙掲載 4件、ラジオ放送 延べ17日 (全て記者発表による取材)

※2

10月4日砂持ち加勢(広島市)、10月18日龍姫湖祭り(安芸太田町)

コスト節減額

取り組みによるコスト節減額(※)

350,000円×24区画=8,400,000円

※区画内全ての木を伐採、持ち帰った場合の金額

※1区画(400m²)の樹木伐採、処分にかかる経費=約350,000円で試算
(伐採費用 300円/m² 運搬・処分費 500円/m²)

伐開作業の状況



応募状況

- 11月16日時点で、24名からの応募あり。
- 応募者は広島市のほか廿日市市、東広島市、庄原市と広範囲。
- 利用目的は、薪材料(風呂、ストーブ)、キノコ栽培がほとんどである。
- 希望する量では『できるだけ欲しい』という意見もあり。

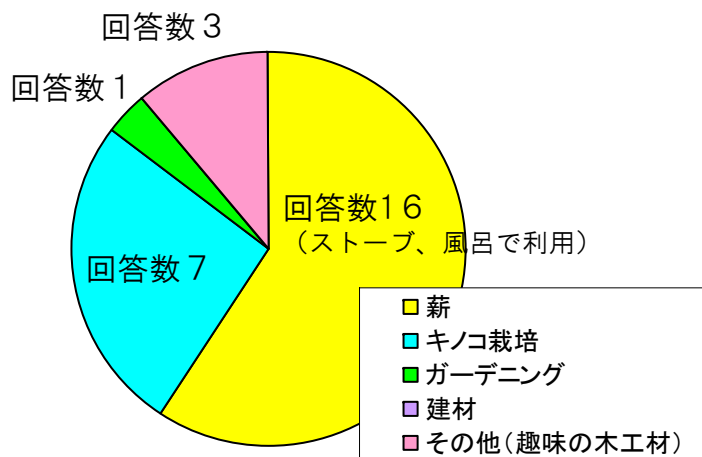
応募時のアンケート結果より

応募者の住所

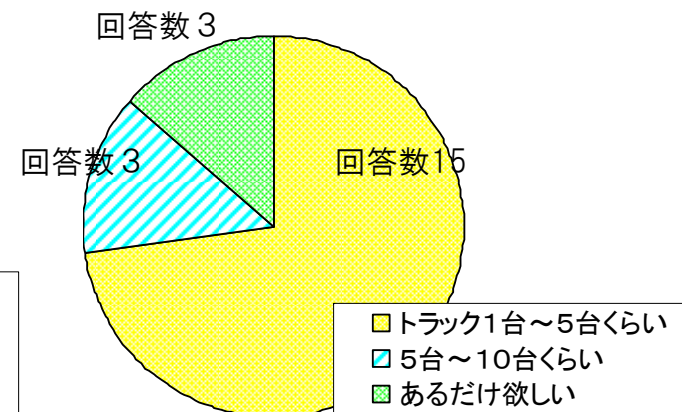
応募者住所	応募件数
広島市中区	2
広島市東区	1
広島市西区	2
広島市南区	3
広島市安佐南区	1
広島市安佐北区	4
広島市安芸区	1
広島市佐伯区	2
廿日市市	3
東広島市	2
呉市	1
北広島町	1
庄原市	1
計	24

利用目的

(重複回答あり)



希望する量



応募者は個人23名、NPO団体が1団体

希望者による樹木伐採の状況

➤ 11月16日時点で、6名の方へ伐採許可書を交付、うち2組の希望者が伐採作業を実施されました。
※伐採期間 10月15日～12月18日

伐採前



伐採後



作業状況



取り組みによるコスト節減

対象範囲約20,000m²を、1区画400m²(20m×20m)単位で50区画に分けて公募を実施した。

1区画(400m²)の樹木伐採、処分にかかる経費は約350,000円
(伐採費用 300円/m² 運搬・処分費 500円/m²)

取り組みによるコスト節減額^(※) = 350,000円 × 24区画 = 8,400,000円

(※) 区画内全ての木を伐採、持ち帰った場合の金額